

【年頭のご挨拶】

食科協年頭ご挨拶

NPO 法人食科協 理事長 馬場 良雄

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様も、今年はステイホームで新年をお迎えの方が多かった事と存じます。その中で、正常な日常生活、社会活動、経済活動が迎えられるようになることを心から願って新年を迎えております。

昨年は1月中旬に新型コロナウイルス感染症の報道が始まり、収まることなく世界に広がってしまいました。サーズやマーズの経験から数か月で鎮静化すると思っていた方も多かったのではないかと思います。全く終息どころか収束することなく1年が経過しようとしています。報道もこの1年間、トップニュースは新型コロナウイルス感染症関連ばかりでした。数々の「専門家」の解説も繰り返し報道されました。2月、3月の報道内容は、まだまだ科学的知見も乏しく多様な意見、誤った報道もありましたが、昨今ではかなり洗練されてきたようにも思います。6月頃中国が輸入冷凍食品に対し新型コロナウイルスの付着の有無を検査しエクアドル産の冷凍エビを輸入禁止措置とするなどの報道もありましたが、世界では科学的データに基づき否定され、消費者も冷静に対応したことは、多くの食品事業者にとっても良かったと思います。しかし、3密回避等の外出自粛要請により、多くの飲食店等の事業者の皆様が苦境に立たされている実状を想うと、早い収束を心から願うしかございません。その様な中、12月11日には消費者庁から次亜塩素酸水販売事業者6社及びアルコールスプレー販売事業者1社に対して景品表示法に基づく措置命令が出されるなど、新型コロナウイルス感染症予防と称した不正な販売活動があることは真に残念なことです。

この様な昨年の中、NPO 法人食科協では、毎週のかわら版配信の充実、毎月のニュースレターの配信などにより情報発信に務めて参りました。年度当初の会員研修会の開催を新型コロナ感染症禍の影響で中止いたしました。12月に「改正食品衛生法の運営について」の公開講演会を開催しました。開催に当たっては、感染防御の観点からWeb主体による講演の配信と共に小規模な会場講演と致しました。パネルディスカッションの実施方法などまだまだ改善しなければなりません。Web配信であれば遠方の方も参加しやすいというメリットもあり、今後の講演会実施方法として改善し続けていきたいと思っております。

2018年改正の食品衛生法につきましては、昨年6月にはほとんどの改正項目が施行され、今年6月には残された項目も施行されます。すべての食品事業者原則義務化されるHACCPに基づくあるいはHACCPの考え方を取り入れた衛生管理については、昨年6月に施行され、本年6月には1年の猶予期間も終わってよいよ本格的に適応していかなければなりません。各食品事業者を直接指導される都道府県の食品衛生監視員の方は、新型コロナへの対応にも忙殺される中で非常にご苦労されている事と存じます。新型コロナウイルス感染症禍の中、感染症対策を実行されてきた飲食店等では、手洗い・整理整頓を今まで以上に徹底してこられたと思いますが、HACCPの適用は難しく考えず、業界団体が取りまとめたガイドラインに沿って着実に実行し、毎年スパイラルアップの改善を積み重ねていくことが最も大切だと思います。

食品表示法改正に伴う表示の変更対応は幸い大きな混乱も聞かずに進行していると思っております。消費者に誤解されず、分かりやすい情報を提供する事は食品の安全・安心にとって重要であることは言うまでもありませんが、前述の次亜塩素酸水の表示で景表法に基づく

措置命令が出るようなことが無いよう、日頃から適切な表示に心掛けることが重要でしょう。消費者庁ではインターネットによる情報提供についてもその意義を認める一方、優良誤認するようなインターネットにおける広告・表示については厳しく取り締まる行政を進められており、正しい情報提供している事業者にとって好ましいことかと思えます。

幸いにも昨年は大きな食品事故はなく、そのことは良かったと思います。しかし、新型コロナウイルス感染症の報道の陰に隠れて、食に関連する重要な話題はあまり報道されなかったように思います。鳥インフルエンザの報道はあまり大きくは取り上げられませんでした。今までのない大流行であり、殺処分されたニワトリは今までの最多になったようです。ウイルスの猛威は人に対する新型コロナウイルス感染症だけでなく、食の安定供給の観点からも大きな課題であり、消費者も含めた状況の理解が必要でありましょう。また、ゲノム編集食品については届け出でよいことになりましたが、その第1号の製品としてGABA高含有トマトが市場に出回るようになるでしょう。遺伝子組み換え食品についてもその安全性について消費者の理解が得られるよう適切な情報提供をし続ける必要性を改めて考えさせられました。

食品事業に係るNPO法人として、新型コロナウイルス感染症流行の2年目となるなか、アフターコロナの時代はどうあるべきか皆さんと共に考える一年としたいと思えます。改めまして本年もNPO食科協の活動に対し温かいご支援とご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。